

包装資材でセネガル農家の所得向上を 福井からアフリカ進出を目指す

国際協力機構(JICA)は、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において、株式会社折玉(福井県福井市、玉村 敏則 代表取締役)が提案する「農産物(バオバブ、モリンガ、ハイビスカス等)加工品の輸出版売事業策定にかかる調査」(セネガル)を採択しました。

セネガルでは、バオバブなど、栄養豊富なスーパーフードの原料となる農産物生産が盛んですが、加工・包装技術が未熟なため長期保存・品質保持ができず、収穫後に約8割のロスが発生しています。

この問題に対し、弁当容器などの折箱メーカーとして90年以上の実績を有する同社は、真空密度が高く酸化を防ぐ高品質な包装資材を安価に提供し、製品付加価値を高め市場へ流通することで、現地生産農家の所得向上に繋げることを目指します。



製品付加価値向上
⇒ ロス低下
農家の収入向上

真空器(包装機械)と真空袋(包装資材)を活用

本調査では、開発課題分析および事業化に向けた生産・加工パートナー選定などを通じたビジネスモデルの検討を行います。また技術指導を行いながら生産試験も行う予定です。同社の取り組みにより、農産物のロスを改善しバリューチェーンを構築することで、現地農民の生計向上が図られることが期待されます。また北陸とセネガルの交流促進、地域活性化への寄与も期待されます。

なお本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」(注)として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

(注)基礎調査は、優れた製品・技術を有する中小企業の途上国進出による開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもの。企業は、検討に必要な情報収集と海外展開事業計画の策定を行う。2017年度第1回は今年3月に公示を行い、13件を採択した。

参考:(プレスリリース)基礎調査2017年度第1回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/ku57pq00001ynho4-att/fs_170308_result.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

★おかげさまでJICA北陸設立25周年!★



JICA北陸 担当:松柴(まつしば)、小島(こじま)
 TEL: 076-233-5931 FAX: 076-233-5959
 E-mail: Matsushiba.Yuka@jica.go.jp
<https://www.jica.go.jp/hokuriku/>